

MAT PRESS

隔月発行

Vol.2

Meiji University of Integrative Medicine | Medical Athletic Trainer Press



2019年度に新しく立ち上がった鍼灸学科および柔道整復学科の学生を対象とした本学独自の「メディカルアスレチックトレーナー」育成プログラム(MAT)。ここでは同プログラムで行われている授業や実習、学内外での取り組みについて紹介します。

本学ならではの特長を活かし ASCを中心に現場力を養う

医学教育研究センター
木村篤史講師 (MAT2年次クラス担当)

コロナ禍の影響もあり、スケジュール的には思っていたようにはいかないところもありましたが、感染対策を講じながら2年次クラスでは、トレーナー活動の軸となるコンディショニング実習



やテーピング実習、セルフケアに関する講義などを集中的に実施することで予定の内容を修了することができたと感じています。MATは、各クラス10~15人と少人数制で、例えばテーピング実習などでも一人ひとり丁寧に指導でき、作業にかかる時間も多く確保することができる利点があります。

本学ならではの特長として、学内にアスリートサポートセンター(ASC)を中核とした医療ネットワークを有すること、女子柔道部や女子サッカー部、陸上競技部など全国を舞台に活躍する強化指定クラブを有する点が挙げられます。強化指定ク

ラブにMATからASCを通じて学生を派遣。アスレチックトレーナーとして、選手のケアのみならず指導者とコミュニケーションをとりながら選手強化、ケガ予防、コンディショニング対策など、現場で様々な実践を積むことができたのではないのでしょうか。

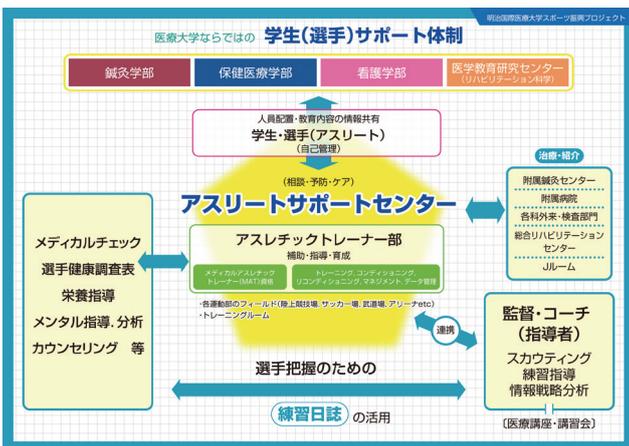
ASCには、日頃からケガはもちろん、いろいろな悩みを抱える選手が訪れます。実際に選手の主訴を受け、医学的知識・経験を活かし、その場で即座に最善策を見極め判断する機会(実際は教員が行うが、共に考え、現場に立ち会い判断力を養う)は、学生にとってはとても貴重な経験であり将来に役立つもので、本学のネットワークを活かしたMATならではの学びだと考えます。実際の処置などは教員が行いますが、計画を立てたり、テーピングを巻いたり、普段のトレーニングを指導したりするのはMAT生を中心に行っており実践力を養う場になっています。コロナ禍、大会の中止が相次ぎ実践の場が失われるなか、本学では、ASCの活動を通じ例年とほぼ変わらない経験の機会を得たことは、学生にとってはとても大きかったと思います。

1年目を終え、学生の取り組みに対する満足度・反応も高かったと感じています。学生に高い実践

力を身につけてもらうことがMATの目指すところです。授業などで培った知識、技術を適切にアウトプットできることが重要となります。学生自身が能動的に動きながら学び成長する場として次年度から、これまで学んできたことをさらに掘り下げることがもとより、技術的にも現場に即した最新のものを取り入れながら指導していく予定です。



「MATの授業は、プロの研修会などで行われる内容の濃いプログラムになっています」と木村先生。



本学独自のシステム「アスリートサポートセンター」

1年間を振り返って

大槻: 本科の授業と比べても少人数で受けられるのは大きいですね。また、テーピングもスポーツの競技別などより細かく丁寧に教えていただけます。さらに教えていただいたことをASCの活動や部活動をサポートしながらすぐに実践できる・臨床の場があるのは、本学およびMATの良さだと思います。

新井: 私たちは鍼灸学科ですが、学科では習わない柔道整復の分野やリハビリ関連、コーチングなど幅広く学べるほか、ASCにはいろいろな選手が来るので、鍼灸だけではなく複数の観点から選手、患者さんを診て判断する力が身につきます。

新井・大槻: ふたりとも無事に国家試験にも合格でき、他校の学生にはない1年間を過ごすことになりました。MATやASCの活動で学んだこと、これから学ぶことを活用し、積極的に外部に出て実践力を高めていきたいと考えています。

新井陽豊さん はり師・きゅう師国家試験合格 (鍼灸学科4年) 滝川第二高校出身(兵庫県) 高校時代の部活動:陸上競技部・短距離(インターハイ出場)
大槻匠一郎さん はり師・きゅう師国家試験合格 (鍼灸学科4年) 福井工業大学付属福井高校(福井) 高校時代の部活動:硬式野球部・投手(甲子園出場)

女子サッカー部 担当トレーナー

女子サッカー部の担当トレーナーとして、2020年秋季リーグ戦を戦い抜き2020年12月に全国の舞台を踏んだMAT生ふたりに、MATに入ったきっかけ、活動の様子、今後の目標などについて伺いました。

稲澤 涼さん (柔道整復学科3年)

羽水高校出身(福井県) 高校時代の部活動:サッカー部 SB



もともと理学療法士を目指していましたがリハビリ、アフターケアが中心のため、もっと現場で選手に寄り添えるトレーナーになりたいと思い柔道整復学科を選び、スポーツ界にも多くの人材を送り出している本学への進学を決めました。

ずっとサッカーをやっていたこともあり全国でも活躍する女子サッカー部の担当トレーナーに。練習や試合前に選手のコンディションなどを確認し、ストレッチなどの指導のほか、練習中は不意なケガにすぐに対応できるように選手の動きなどを常にチェック。練習後にテーピングを巻いたりアイシングやマッサージするなどのケアが主な活動となります。特にテスト期間中は睡眠時間が短くなっている選手はケガをしやすいため注意しながらサポートにあたっています。

ストレッチやテーピングなどにしても学科の授業より先にMATやトレーナー部の活動で教えていただき、実際に現場で実践することができます。その際、一般的なストレッチや巻き方に加え、選手の個性やニーズ、好みに合わせたやり方を教えていただけることで引き出

しが増えるなど座学だけでは得ることが難しい応用力、現場力、コミュニケーション力を養うことができます。

コロナ禍、多くの大会などが中止となりましたが、女子サッカー部は秋季リーグから試合が再開。過去最高の2位となり2年ぶりにインカレに出場したことで選手と共にトレーナーとして全国の舞台に立つことができました。中には緊張でいつものように身体が動いていない選手もいて、そうした選手をいかにリラックスさせパフォーマンスを発揮できるようにしてあげられるのかなど、戸惑いもありましたがとてもいい経験になりました。

今後はさらに実践経験を積み、将来的には、選手のケアはもちろん、選手と共に成長できるアシスタントトレーナーになれるようMATの授業はもちろん強化指定クラブのトレーナー活動などで実践力を付けていければと思っています。



大会でサポートする稲澤さん(中央・黒)

森 陽香さん (鍼灸学科3年)

赤穂高校出身(兵庫県) 高校時代の部活動:バスケットボール部

小さい頃から将来は大好きなスポーツに関連した職業に就きたいと考えていました。中学の時にスポーツトレーナーという仕事を知り、なりたいたったのがこの道に進んだきっかけです。大学に入学するまで鍼灸の治療を受けた経験はありませんでしたが、オープンキャンパスに参加するなどした際、スポーツトレーナーになるには国家資格を持っていた方が有利になると伺い鍼灸学科を選びました。

学内にアスリートサポートセンターを中心とした選手サポートの仕組みがあり、指導者はもちろん全国で活躍する選手が数多く在籍しているのは他の医療大学にはない本学ならではの長所だと思います。



大会でサポートする稲澤さん(中央・黒)

MATに入ったのは、学ぶ機会も増え、学科の授業で習ったことをすぐに実践で試すこと

ができ将来に役立つと思ったからです。しかし、授業で教わるのと、実際に選手をサポートするのでは大きく違っており、競技中などは時間の制約などもあり先生や先輩方が素早く判断し手際よく処置していく姿を見て学ぶことがたくさんありました。

女子サッカー部のサポート担当を選んだのは、女子のそれも強豪チームのサポートをやりたいと思ったからです。私たちトレーナーの役割は、選手に試合で最高のパフォーマンスを発揮してもらうことです。日頃の練習や試合で疲労が残らないようケアをしたり、選手とコミュニケーションをとりながらトレーニングメニューを考えたり、時にはメンタル面の相談に乗ったりするのが主な仕事となります。MATの授業で、競技別に使う(重要な)筋肉やケガをしやす部位などについて学んだことがとても役立つほか、シーズンを通して選手と関わることができるのはとても貴重な経験になりました。

今後はMATの活動を通じさらに経験を積み、選手から信頼されるトレーナーになれるよう頑張りたいと思います。



女子サッカー部の声

サッカーはコンタクト競技なので、練習中いろいろなアクシデントが起こります。そうした際にすぐに対応してもらえるので、安心して練習・プレーに集中することができます。また、動きなどに関しても客観的にチェックしてもらえ、個々の課題に対してストレッチや補強などのメニューを考えてもらえ、とても助かっています。

2年ぶり3度目のインカレで全国初勝利を挙げた女子サッカー部



明治国際医療大学
<https://www.meiji-u.ac.jp>



明治国際医療大学が独自に新設した資格"MAT"で活動する学生トレーナー公式アカウント



鍼灸学部
鍼灸学科

目指す資格

国家資格
 はり師 きゅう師

保健医療学部
柔道整復学科

目指す資格

国家資格
 柔道整復師

救急救命学科

目指す資格

国家資格
 救急救命士

看護学部
看護学科

目指す資格

国家資格
 看護師 保健師 助産師